

平成30年度

第2回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成30年度第2回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成30年5月25日(金)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時00分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	坂 東 英 司
教育長職務代理者	大戸井 美 生
委 員	重 清 由 充
委 員	森 勝 正
委 員	庄 野 憲 二
委 員	西 渕 利 江

4 会議出席者

教 育 部 長	妹 尾 明
教 育 次 長	湯 藤 義 文
教 育 総 務 課 長	吉 川 和 宏
学 校 教 育 課 長	成 谷 史 代
社 会 教 育 課 主 幹	杉 山 洋 子
学校給食センター所長	野 崎 順 子
(書記) 教育総務課課長補佐	滑 田 三 美

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 阿波市中学校任意麻しん予防接種費用助成金交付要綱の制定について
- (4) 準要保護の認定について
- (5) 教育委員会事務事業の点検及び評価について
- (6) その他

会議の大要は、次のとおり。

【坂東教育長】 定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【坂東教育長】 送付いただいております会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】 「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【坂東教育長】 5月3日から5月25日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】 「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 阿波市中学2年生任意麻しん予防接種費用助成金交付要綱の制定について

【坂東教育長】 事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】 阿波市中学2年生任意麻しん予防接種費用助成金交付要綱の制定について説明。

〈質 疑〉

【森委員】 これは、2回予防接種をしないと効果がない。補助は1回ですか。

【成谷学校教育課長】 実は、28歳以下の子たちは、2回の定期接種を受けるように義務付けられており、ほとんどの方が受けられております。ただ、2回受けなければ効果がないということなので、2回受けるように指導をしているところです。補助は1回です。

【大戸井委員】 義務付けられているのに、受けてない人がいるのはどういうことですか。

【成谷学校教育課長】 やはりその時に、熱が出たり、体調不良だったりとかもありますし、もともと受けられていない方もあります。

【大戸井委員】 義務付けられているんですよね。

【成谷学校教育課長】 あくまでも保護者の同意が必要です。保護者のいろいろな考え方もございます。アレルギーもございます。受けてない方もおります。調べたところ、35名いました。その時2回目が、体調が悪いとか何かで受

- けられていない子どもたちを救うための要綱となっております。
- 【重清委員】それなのに、人数は市場が3名、吉野が1名ですか。
- 【成谷学校教育課長】呼びかけたのですけれど。
- 【重清委員】受けずに行った子もいますか。
- 【成谷学校教育課長】います。
- 【庄野委員】1回受けるのに8,000円ぐらいかかりますか。
- 【成谷学校教育課長】1回8,000円から10,000円です。病院によって違うそうです。
- 【大戸井委員】たまたま、ある先生に聞きました。予防接種どれくらいの方が来ておりますかと聞くと、ぼつぼつ来てますと。抗体検査とワクチンの1回の接種料のお金がほとんど変わらないので、わからない場合は、接種をされたほうが、料金面で考えるといいのではないのでしょうかとご意見をいただきました。私の質問をさせていただくと、目的で阿波市内中学2年生の麻しんの発生を防ぐために、これをするということなんですけど、一つ目の質問は、混合ワクチンと単体ワクチンの料金はいっしょですか。
- 【成谷学校教育課長】違います。
- 【大戸井委員】接種希望者は、どちらでも選択できるのですか。
- 【成谷学校教育課長】そうです。
- 【大戸井委員】価格が違うのに、それぞれ半分は助成をするのですか。
- 【成谷学校教育課長】かかった実費に対して助成をします。
- 【大戸井委員】片一方が10,000円、片一方が5,000円の場合は、片一方は5,000円助成するけど、片一方は2,500円しか助成をしないのですか。
- 【成谷学校教育課長】そうです。
- 【妹尾教育部長】ただ、そのワクチンが単体ばかりあるとは限らずに、そこは混合しかないといろいろなケースがあるので、そこまで現実的には縛れないというところがありました。
- 【大戸井委員】もう一つの質問は、2年生の麻しんの発生を防ぐために、予算の範囲内で助成をすると書いていますが、先ほども接種者の数を言いましたが、接種100%でないと麻しんの発生を防ぐためという目的に、合致しないのではないですか。
- 【成谷学校教育課長】あくまでも予防接種は任意です。
- 【大戸井委員】そしたら、一人でも感染して帰って来ました。他の学年に広がりました。ということを防ぐという意味もあるのではないかと思います。
- 【成谷学校教育課長】それもございますが、強制で皆さん受けなさいと言えるものではないので、より多く受けてもらうためです。

- 【妹尾教育部長】助成することによって、より多く受けていただいて、できるだけそのリスクを減らしていくという考えの基に、この助成をしています。
- 【成谷学校教育課長】沖縄に修学旅行に行くことが分かっていますので、行政としても何らかの措置をしよう。
- 【重清委員】てっきり、全員が受けられていると思っていました。風邪よりかなり感染率が高いと聞きました。マスクをしてもだめ。
- 【大戸井委員】すれ違った瞬間に感染するくらいの感染力。コンビニぐらいの広さのところであれば、一人感染者が入ってくると、全員が感染するくらいの感染力。
- 【重清委員】帰って来てからしばらく様子を見ていないと、大変なことになる。風邪かなと思った状態で、やっぱり麻しんだった。
- 【大戸井委員】症状が出る前に、かかっている人は、すでに感染力を持っている。
- 【重清委員】その状態で病院へ行ったら、病院へ来ている人にまでひろがりますよね。
- 【大戸井委員】趣旨はわかります。効果を考えた時にどうかなと。
- 【成谷学校教育課長】これは結果であって、もっとたくさん受けてくれると思っていました。ただ、急遽だったので、期間が短かったということもあるかと思います。学校でも呼び掛けてもらいましたし、修学旅行前の説明会の時にも、養護の先生からお話もしていただきました。県からの「学校麻しん対策について」の注意喚起を、各学校に配布して、保護者の方にお配りさせてもらっている状況です。
- 【重清委員】保護者の方から、修学旅行の場所を変えてということは無かったですか。
- 【湯藤教育次長】それはないです。短い時間での調査、要綱の制定ということで、先ほど課長が申し上げた数が正確かと言われれば、ちょっと心配なところもあります。それから、母子手帳をよく見たらわかるそうですが、受けないと手をあげていたけど、あとからよく見ると受けていたという家庭もあったりするので、ひょっとしたらもうちょっと少ない可能性があります。正確な数と言われると、短時間の調査でありますのでわからないところがあります。
- 【森委員】接種してから効果が出てくるまでの期間が長いから、今からしてもだめだということであきらめた人はあまりいないのですか。もうすぐそこに修学旅行がせまっているのに。すぐに効果は出てくるのですか。
- 【妹尾教育部長】要綱を出す段階では、その期間でいけるということでお

ります。

【湯藤教育次長】20日間ぐらいは必要なようですが。

【大戸井委員】厳密に言うたら、抗体検査をしてないと、その人に抗体がついているかどうかわからないので、受けていても検査をしたら、抗体がついていないこともありえるそうです。

【湯藤教育次長】2回受けても、抗体がつかない場合があるらしいです。

【大戸井委員】いいことではあると思います。

【成谷学校教育課長】今回は、沖縄へ修学旅行に行くということで、中学2年生に限定させてもらいましたけれど、健康推進課のほうでは、市民の方にとにかく受けてくださいという呼びかけはされております。

【重清委員】病院によって違うというのは、インフルエンザと同じですね。

【成谷学校教育課長】そうです。

【重清委員】インフルエンザは各病院によって、値段が違います。

【湯藤教育次長】混合ワクチンがかなり高いです。

【重清委員】はしかと風しんの混合ワクチンを、高くともしていると心強いですよね。

【大戸井委員】風しんも、何年か1回流行しますからね。

【坂東教育長】「阿波市中学2年生任意麻しん予防接種費用助成金交付要綱の制定について」を承認する旨を告げる。

(4) 準要保護の認定について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(5) 教育委員会事務事業の点検及び評価について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【吉川教育総務課長】教育委員会事務事業の点検及び評価について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「教育委員会事務事業の点検及び評価について」を承認する旨を告げる。

(6) その他

【坂東教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【湯藤教育次長】学校訪問について説明。

【重清委員】他県で学校の下校時に子どもが連れ去られる事件がありました。阿波市内でも人けの少ない暗くなると物騒な箇所があると思います。これからは、日が明るくなりますが、どうしても人通りが少ないところは安全面においても心配です。そういった面で、昔は防犯ベルを子どもに一つずつ持たせていましたが、今はどうなっていますか。

【成谷学校教育課長】新1年生には、すべて支給をしております。

【重清委員】下校のパトロールが、事件が起こったところも高齢化が進みなかなかパトロールが追いつかない状態ということでした。阿波市も、各小学校で地域の方々のご協力をいただきながら、パトロールをしていただかないと心配だなと感じました。

【庄野委員】今の重清委員さんの話しに関連して、不審者ですが、昔よく不審者情報が入ってきていたのですが、最近ほとんど入ってきていないのですが、阿波市は不審者情報は出ていないのですか。

【湯藤教育次長】去年から今年にかけて、あんまり育成センターからきていません。

【庄野委員】前は、年間に何回も入ってきていたが、最近全然入ってきていないので。

【湯藤教育次長】少ないというか、去年1件あったかなという程度です。

【庄野委員】あれは出たら、新聞とかに出るようになっていきますね。

【坂東教育長】育成センターを中心に、各学校にメールが回ります。育成センターも放課後あたりを中心に青パトで回っていただいております。

【森委員】今青パトは何台ありますか。

【坂東教育長】吉野地区子どもを守る会も1台持っています。

【妹尾教育部長】育成センターは、1台のワンボックスです。

【森委員】違う青パトを見かけたので、あれって思っって。

【庄野委員】子どもを守る会を吉野町が持っているし、そんなものもあるのと同じですか。

【大戸井委員】かなり古いですよ。中古で買ったから20年くらいになるの

と違いますか。そこに所属のワゴン自体も古いですよ。あと、先ほど防犯ベルのお話があったのですが、いろいろ全国的な事故を受けて、防犯ベルを配布しているだけではなくて、防犯ベルが鳴るかのチェックを各学校でしてほしい。何かの機会に担任の先生に質問をしたことがあります。鳴るかどうかのチェックをしていますかと聞くと、していませんという返事でした。それって、各家庭に任せるのはいいのですが、今のこの時代にチェックは必要でないかなど。絶対に電池も切れるし、毎日通っていたら衝撃とか振動とかで不具合も出てくると思います。やっぱり、数か月に1回はちゃんとブザーが鳴るかどうかは、学校の責任においてチェックをしていただくのがいいのではないかと。それも必要かなという気がします。

【重清委員】子どもは、毎日持って来ているのですか。

【大戸井委員】ランドセルに引っ掛けています。

【重清委員】全員が携帯していますか。鳴らしたことがない子は、口頭でここを引っ張ったら鳴るよでなくて、確認のために1回鳴らしてみるのが良いのではないのでしょうか。

【庄野委員】いらん時によく鳴るよね。

【森委員】最初に支給して、その後の維持については電池の交換も含めて家庭の方でという話しになっているのですが、だからどんなんでしょう。補助をして替えの電池と言っても、形が変わって、別の形を購入する子もいるしなかなかですよ。基本的には、保護者あてにチェックをしていつも作動するような形の呼びかけの文書を配布するぐらいでないと、それか学校で一斉に鳴らしてみるというのものもあるかもわかりませんが、しようと思えばすぐできると思いますが。

【大戸井委員】年に1回地震の避難訓練をすることを思えば、鳴らすくらいは簡単だと思いますが。

【重清委員】切れていたら、電池を替えてもらいなさいと伝えることが大切です。

【大戸井委員】電池交換まで責任を持たなくとも、家庭に働きかけるだけでもいいと思います。それまで学校が責任を持っていたら、大変になるので。お宅の子どもさんのは鳴りませんよと、子ども自身と家庭にも注意喚起はすべきでないかなと思います。

【森委員】この前徳新を見ていたら、東みよし町が働き方改革で、教育委員会の方から積極的に各学校にパソコンのシステムを入れて、勤務時間をチェックしようというのが載っておりましたけれども、最近はおちこちで働き方改革のことを言われていますが、職員の過労に伴う事件なり事故なりがあった

時には、教育委員会はもうちょっと何かをしておいた方が良かったのではないかと、なりはしないか心配しています。パソコンを導入して、帰る間に必ず切って帰ったら、終わった時間がチェックできるシステムらしいのですが、あそこまでしたら、余計に負担になるかなっていう気はするのですが。残業時間をどれくらいしたか見たところは、各学校で少なくともチェックして管理職がそれに常に目を光らせて指導をしていく、事前に対応をしていくというような体制をとっておかないと、いろんな事件事故の後では遅いのかなという気がします。何かいい考えというか、よその市町村の事例とかあったら、お願いします。

【坂東教育長】今おっしゃったように、働き方改革で職員の勤務時間については、教育委員会の方から、校長は職員がどれくらい時間外勤務しているかを把握して、時間数の多い職員については、それぞれ学校で指導しなさいという方針が出ています。それで、阿波市の対応については、湯藤次長に。

【湯藤教育次長】教員の働き方改革は、まず意識改革が大事だと思います。教員の場合、教職調整額として給料の4%があらかじめ加算されており、超過勤務の意識がありません。勤務時間を意識せずに働いて、費用対効果、時間対効果に教員はうといと思います。そこで、勤務時間を意識した働き方を進めるということで、現在、前月の校長会で投げかけていますが、タイムカードを導入しても結局集計をしないといけませんので、パソコンの1クリックで、一台のパソコンにエクセルでソフトを作りまして、出勤した時にクリックをする。出勤簿の横に置いてあるので、帰りにクリックして帰るというシステムを、実は現在御所小学校にお勤めの先生が開発してくださいまして、今小学校中学校に配布して試行中です。それで、自動で集計できるような形のものを考えてくださっておりまして、それが、使いがってがいいか悪いかのご意見をいただいて、修正していただけますし、それが、中学校で使えるかどうか、部活や土日の関係がありますので。いずれにしても、校長先生には時間管理をしっかりしていただくということと、職員の意識を変えるというところをお願いしているところです。その他にも、学校におけるいろんなところの業務改善を推進していかなければならないし、特に中学校では部活動のあり方の指針も、スポーツ庁も出しております。阿波市も、今県のを基に修正版を作っておりまして、活動時間の目安であるとかを設定しておりまして、校長先生に検討していただいているところです。それから、働き方の内容ということで、ICTを活用して業務を簡便にしていくということで、小学校では通知表など市が準備したソフトを活用していただいております、中学校でも使ったら便利ということが浸透しつつありまして、ズキ校務ソフト

の活用の意識が高まってきているところです。そういったことで、全体として阿波市小中学校の業務改善方針も併せて作成途中でございまして、校長先生に検討をしていただいております。今度の校長会でご意見をいただくことになっておりますので、それをまとめたものを、間に合うかどうかわかりませんが次回の定例会でお示しさせていただきます。2学期からはその方針にそって業務にあたれたらと考えているところです。

【坂東教育長】今のプラスして、県下的にも夏休みのお盆の時期に学校閉庁がどんどん進んでおります。年末年始は、はっきり休業ですが、この閉庁は年休で消化をするという形になります。休んだ時の学校は誰がみるのかと。管理職が日直をしないといけないかなという感じはありますが、校長会で練っていただいております。早ければ今年度のお盆の閉庁日ができたらいいなと思っています。

【庄野委員】今話しがあったように、勤務時間を減らしていくのはいいと思いますが、結局先生方の内容量が同じであったら、勤務期間を減らしたらどこで取り返すかということになったら、家に持ち帰りとか。非常に効率よく全員ができたらいのですが、そういうことになってしまうので、内容を精選していったらないものは切り捨てていかないと、なかなか先生の負担は減らないのではないかと感じはします。だから今言っていたような、お盆の時に先生方が勤務をするとか、それ以外にもいろんなところで無駄ではないですが、切り捨ててもいけるような部分があるような気がするので、是非それを考えていただいて、減らしていただけたらと思います。

【坂東教育長】残業の上限を決めても、庄野委員がおっしゃるように、学校でおれないので持って帰るといような感じになると、何をしているかわからないし、大事な個人情報を学校から家に持つての移動もいかなものかなと思います。ひょっと事故があったらという心配もあります。できるだけ、休める時は休んでいただいとふうな方向でいきたいと思し、学校行事等々を見直すのも必要ですが、わたしは個人的には、今まで一生懸命先生方が学校行事とかいろいろなもので、子ども達に接して一生懸命やっていた。それは非常に意味があると思し。この時間に子ども達に一生懸命教育的価値を与えたのですが、その時間がなくなって、効率的にそれを取り返すような時間ができるのかというのは、まだ見えてきません。今はカットカットと言っていますが、カットするのはいいのですが、カットした分の効率的な子どもの教育というのは、今はまだ見えてこないで、カットカットもいかなものかなと思し。

【森委員】今進めていただいているように、現場の校長先生方とか職員とかの

意見を聞きながら、無理のない範囲で、今すでに確かな新たな取り組みを進めてくれているということを知り、安心して安くなりました。これからも、そういう方向でぜひお願いできたらというふうに思っております。

【重清委員】各学校で田植えや稲刈りの経験をさせていただいていますが、好意でその田をお借りして、お借りしている家の方に管理をお任せし、子ども達と田植えから稲刈りまでお世話をしてくださり、いろいろとお世話になっているところが多いと思います。大俣の運動会で大村先生にお会いしました。大村先生も17年になるそうです。ご主人と一緒にご指導をくださっていますが、もう今年でやめようかと思いつつ、それでも子どもからお礼状をいただいた中に、来年も再来年も楽しみにしています、よろしくお祈りしますという手紙をもらったら、よし来年も頑張ろうと思いつつ、引き続き続けてくださっていますが、その好意に甘えて十数年もとなると、先生方のご健康も心配です。各学校でそれはどのようになさっておられるのでしょうか。本当に一生懸命ご好意でしてくださっています。子どもにとっては大変貴重な経験をさせていただいて、ありがたいのですが、校区によって、皆さんの好意でしてくださっていると思いますが、それに甘えてばかりでいいものか。場を貸していただけたら、そこを地区の方で話し合い一緒に協力し、後を引き継いでくださるような方を見つけていただけたらと思います。

【坂東教育長】各学校によって、いろいろ状況が違うと思います。まるつきりゼロ報酬というところあるし、土地を借りているからそこで取れたお米の何俵かは、おうちの方にといいところもありますし、総合的な学習という意味で謝礼というのも微々たるものですが、それぞれ学校によって違いますね。大村先生がご高齢で、甘えてしているのは重々承知しております。

【重清委員】お元気で頑張ってください。よその地区はどうされているのかと思いつつ、御所の方は小麦を作り、いろんな経験をさせてもらっているの、地区によって違うの、でしょうね。

【森委員】誰かのボランティアとか好意にすがっているのが事実ですね。本人の方も、そろそろ次の人にバトンタッチをしたいと思いつつ、結局引き受けたらある程度指導に行ったり事前に耕したり準備したりする時間的なもの、それから機械を使ったり経費的なものがかかってくるし、いろんなものがあるって誰でもが積極的にやりますと言えないところがあるので、なおかつ子ども前で植え方とかいろいろなことの指導をしないといけないし、それもわかりやすい言葉で親しみを込めて話しができるかどうかという心配もあるし、次の人が受けにくいというのが確かにあると思います。だけど、その人ばかりでなしに、その学年の保護者なんかもある程度気を使って、その中に

できるような人がおったら、今年はこの学年のこの人がしますというような形でしていかないと、なかなか難しいと思います。

【重清委員】負担が一軒にかかるのは申し訳ないですね。

【森委員】柿原でおった時も、レタスとお米の両方を指導に来てくれる方がいて、機械を持って来て、事前にさっさとその日に合わせて、苗も新しい新品種のを事前に持って来てこうこう植えてと指導を全部してくれて、手際が良いしね。だから、ある程度の経験をしてわかっているところもいるし、とにかくいろんな要素があって難しいと思います。

【坂東教育長】ただ、お米を作らないといけないということではないので、それができなくなればそれに変わる体験学習的なものを、また学校が考えたらいいと思います。

【大戸井委員】阿波市としては、いわゆる後継者育成の面から教育委員会ではなくて阿波市自身が農業であるとか、介護であるとか福祉は全部そうですけど、そういうところに働きかけていかないといけないと思います。それに対して、助成を付けていただく、実際に国もそうですが、経費を切り詰めてシルバー活用とかアクティブシニア活用とか言われていますが、結局は、これからは高齢者にお願いをしようという感じで、経費削減になっていますから、なかなかお金を出してくれない。

【森委員】議会の方でも検討していただいて。

【大戸井委員】今阿波市は農業を押ししていますので。

【森委員】今のは、いいアイデアですよ。確かに現実一部の人に負担というか、好意で熱心にしてはいるけれども、なかなか新しい人が出てこないということで。後継者育成ということでやってくれたら。

【大戸井委員】小学校の時に、興味がなかったら、大人になってしようかとはなかなか思わない。

【坂東教育長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

とおり相違ないことを証明します。

平成30年5月25日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐